

2019年4月吉日  
NPO 法人 ETIC.

島根県雲南市と NPO 法人 ETIC.、竹中工務店、ヤマハ発動機が連携協定を締結  
～雲南市における地域課題解決と事業創出を目指すプラットフォーム構築へ～

島根県雲南市（市長：速水雄一 以下、雲南市）と NPO 法人 ETIC.（代表理事：宮城治男）、竹中工務店（社長：佐々木正人）、ヤマハ発動機（社長：日高祥博）は、雲南市内の地域課題解決と市民の暮らしの豊かさの創造に資するための連携協定を 2019 年 4 月 1 日付けで締結しました。協定締結の一環で、総務省の「地域おこし企業人交流プログラム推進要綱」※1 に基づき、竹中工務店の社員を「地域おこし企業人」として雲南市政策企画部政策推進課に研修派遣する協定も締結し、2019 年 4 月 11 日に調印式を行います。ぜひご取材賜りますようお願い申し上げます。

【 調印式概要 】

- ◆日 時 : 4月11日（木）14：00～15：10
- ・開会（司会より）
  - ・ご挨拶（雲南市長 速水雄一）
  - ・雲南ソーシャルチャレンジバレーの説明（雲南市 政策企画部 佐藤部長）
  - ・ご挨拶（竹中工務店 取締役 執行役員社長 佐々木正人）  
（ヤマハ発動機 上席執行役員先進技術本部長 藤田宏昭）  
（ETIC. 代表理事 宮城治男）
  - ・締結のサイン
  - ・来賓のご紹介
  - ・企業チャレンジの説明
  - ・質疑対応
  - ・記念撮影
- ◆会 場 : 島根県雲南市役所（5階 会議室）  
（島根県雲南市木次町里方521-1）

◆ご質問、当日のご取材申し込みは以下までお願いいたします。

NPO 法人 ETIC. 広報担当 木村静・押切真千亜  
mail : local-info@etic.or.jp / TEL : 03-5784-2115

社会起業家や地域での起業家育成に取り組む NPO 法人 ETIC.は、2016 年 9 月に地域資源を活用した新たな事業創出・起業家育成を目指す自治体コンソーシアム「ローカルベンチャー推進協議会」を、全国 8 の自治体とともに立ち上げました。先進自治体が連携をすることで、ともに学び、ともに起業家を育て、そして新たなお金や人材、都市部企業などとの協働機会の拡大を目指しています。

島根県雲南市も 2017 年度より同協議会に参画し、年 2 回の合同合宿など、他の先進自治体とのノウハウ交換をしながら、地域内の起業家育成の仕組み強化に取り組んできました。雲南市におけ

る若手起業家育成の取り組みは、2018年10月国会での安倍総理による所信表明演説においても紹介されるなど、全国的にも先進事例として注目を集めており、こうした流れをさらに加速させていくために、民間企業による投資や協働の機会も模索していました。

竹中工務店は、2025年のグループ成長戦略の実現に向けて、「まちづくり総合エンジニアリング企業」への進化を目指すことを掲げ、2017年10月に「まちづくり戦略室」を新設。健康やエネルギー、伝統的建造物を活用した観光など、多様なテーマを掲げる中で、その社会実証を進めるためのエリア選定においてNPO法人ETICと連携し、ローカルベンチャー推進協議会参画自治体など、先進的なチャレンジに意欲的な複数の自治体への訪問・協議を重ねてきました。

今回、竹中工務店による複数回にわたる雲南市への訪問、また協議を重ねてきた結果、雲南市が社会課題解決に向け掲げる「雲南ソーシャルチャレンジバレー構想」に、竹中工務店も参画し、企業チャレンジの仕組みづくりを雲南市と一緒に構築していきます。また「健築®」※2におけるノウハウや知見を活かし、竹中工務店の健康なコミュニティを支える新たな事業創出を雲南市と連携して目指していきます。一方、ヤマハ発動機は雲南市役所と協力し、2019年1月に電動小型車両による交通課題解決についてのアイデアソンを実施するなど交流を深めてきました。雲南市民が参加者の中心となったアイデアソンでは、地域に根ざしたユニークな課題解決案が提案されました。同社は今後、それらの社会実装に向けた新しいチャレンジを支援し、雲南市における交通課題の解決に寄与して参ります。ETICはこれらの動きに伴走しながら、雲南ソーシャルチャレンジバレー構想に参画する新たな企業の巻き込みなどをサポートしていきます。

※1「地域おこし企業人交流プログラム」推進要綱：

総務省が実施する、地方公共団体が、三大都市圏に所在する民間企業等の社員を一定期間受け入れ、そのノウハウや知見を活かし、地域独自の魅力や価値の向上等につながる業務に従事してもらうプログラム。

[http://www.soumu.go.jp/main\\_sosiki/jichi\\_gyousei/c-gyousei/bunken\\_kaikaku/02gyousei08\\_03100070.html](http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/jichi_gyousei/c-gyousei/bunken_kaikaku/02gyousei08_03100070.html)

※2「健築®」：

人と建築が寄り添うことで健康的な環境を実現することを目的とし、空間・まちづくりからの行動変容・健康増進を目指す取り組み。

<https://kenkou-kenchiku.jp/>

## ■雲南市：「雲南ソーシャルチャレンジバレー構想」概要

日本の課題先進地域である雲南市の社会課題を見据えながら、地域の方々と対話し新しい価値創造・開発の場をベンチャーや先進企業に提供していきます。この地域だからできる新たなチャレンジの場を生み出すことにより、地域活性化のまちづくりモデルとする、竹中工務店や雲南市、ヤマハ発動機、ETICを含む6組織による構想です。

雲南市では、平成の大合併後の地域自主組織制度の推進により、地域内の課題を住民自ら事業として解決していく流れも盛んであり、この取り組みが若者たちによる地域での起業を支える苗床にもなっています。最近では、日本政策投資銀行による女性ビジネスプランコンペティションでソーシャルデザイン賞を受賞したコミュニティ・ナース・カンパニーなど、雲南市から生まれ、全国的な展開を目指す若手起業家も増えつつあります。本構想では、これまで培ってきた雲南市の基盤に、新たにベンチャーや先進企業を巻き込んでいくことで、社会課題解決を更に加速させていくことを目指しています。

#### ■竹中工務店：「健築®」及び健康なコミュニティを支える事業の創出

これまで竹中工務店が「健築®」に取り組み、蓄積してきた知見やノウハウを、雲南省の社会課題解決に向けて活用します。具体的には、住民に負担をかけることのないIoT等を活用したシステムにより、地域自主組織で地域コミュニティの豊かさにかかわる情報を一元化することで、コミュニティ全体の健康を評価し、それに基づくソリューションやサービスを提供していくことを目的としています。

今回の社会実証を通じて、住民の健康維持などの自治体向けサービス、従業員の健康維持・ヘルスケアなどの企業向けサービス等を新事業として創出し、公共施設、高齢者施設、オフィス空間等に新たな価値を提供していきます。

#### ■ヤマハ発動機.：ラストマイルの移動課題解決をサポート

ヤマハ発動機は、オートバイやプレジャーボート、電動アシスト自転車、電動車いすなどを製造・販売する輸送機器メーカーです。近年では、全国各地で行われている地域交通やラストマイル交通の解決に向けた実証実験へ電動小型低速車両の提供や突き抜けたまちづくりのアイデアを形にする「まちづくりノリモノ☆ラボ」（主催：一般社団法人Inspire）を後援するなど、日本各地で顕在化する交通課題の解決に向けて取り組んでいます。

ヤマハ発動機はこの度の協定締結をふまえ、雲南市民の皆様をはじめ、雲南省役所、地域の移動サービス提供者、ローカルベンチャー企業、地域自主組織などと連携・協力をし、雲南省における交通課題の解決策を産み出したいと考えています。

#### ■NPO 法人 ETIC.：「ローカルベンチャー推進協議会」概要

ローカルベンチャー推進協議会は、2016年9月、地域の新たな経済を生み出すローカルベンチャーの輩出・育成を目指し、岡山県西粟倉村とNPO法人ETIC.の呼びかけに賛同した8つの自治体により、内閣府の地方創生推進交付金に「広域連携によるローカルベンチャー推進事業」として申請し、採択されたのをきっかけに発足しました。自治体が拠出金を負担し、事務局をETIC.に委託して運営しています。

自治体同士や民間団体が連携し、全国からローカルベンチャーの担い手と呼込み、事業成長を支援し、5年間で総額50.4億円のローカルベンチャーによる売上規模増、114件の起業家創出、269人の起業型・経営型人材の地域へのマッチングを目指して活動を開始しました。2017年5月に新たに2自治体が、2018年4月には、さらに1自治体が参画し、5年間で60.1億円のローカルベンチャーによる売上規模増、176件の起業家創出、366人の起業型・経営型人材の地域へのマッチングを目指して活動しています。

※ローカルベンチャー推進協議会 <https://initiative.localventures.jp/>

※NPO 法人 ETIC. <https://www.etic.or.jp/>

この件に関するお問い合わせは下記にお願いいたします。

NPO 法人 ETIC. 広報担当 木村静・押切真千亜  
mail : local-info@etic.or.jp / TEL : 03-5784-2115